

## 当プログラムで導入したシミュレーターが活用されています

本プログラムでは、超高齢社会に対応できる各種シミュレーション機器の整備を進め、研修会を開催しています。「血管インターベンションシミュレーショントレーナー」や、「腹腔鏡下手術シミュレーター」、「大腸内視鏡トレーニングモデル」等を、昨年度に地域医療人材の確保と育成のための拠点として開設された「新潟医療人育成センター」内に設置し、専門研修医の修練や医学部生の臨床実習の場で活用しています。

写真は、血管インターベンションシミュレーショントレーナーで医学部生が実習を行っているところです。血管造影及び血管内治療のリアルなハンズオントレーニングができ、カテーテルなどの取扱いスキルと臨床上での判断力向上が期待できます。「初めて使ったが感触がリアルで緊張した。勉強になった」「また練習してもっと上達したい」などの声が聞かれました。

今後も次世代を担う医療人育成のため、活用をすすめていきたいと思えます。

